

総会報告(2号館・ホール)

渡邊副事務局長が、出席者数(委任状を含む)が総会規定に準じていることを報告し、兼松幹事長が議長として選出されて議事が進行、下記承認された。

1、2006年度活動報告(鈴木会長)

総会開催挨拶の後、2006年度活動報告を行った。

- ・ DOCOMOMO 世界大会に十数名で参加、2008年世界大会に立候補したが、オランダに決定したことなど
- ・ 2005年度選定建築物として15選の選定・関連して建築学会神奈川大会で学会対応WGによるパネルディスカッション「モダニズムから70年代へ」に参画し、選定を70年代も視野に入れることの検討をしたこと 2006年度選定より70年代も選定対象とする。
- ・ 7件の保存要望書の提出、関連して都城市民会館、日土小学校保存活用の支援を行った。
- ・ 20選展を札幌に、100選展を大阪に巡回。シンポジウムや見学会を併催し多数の見学者を得たこと。

2、会計報告(桐原会計担当) 100選展の残預金が本会計に組み込まれたことが報告された。

3、2007年度活動計画(兼松幹事長)

DOCOMOMO 世界大会に参加し、国際的な活動の中で DOCOMOMO が存在することを実感した。大勢の会員が楽しく参加できる国内の活動を行っていくとともに、国際対応を積極的に行いたいと考えて活動計画を考えた。

- ・ 選定したデーターのオランダ NIA への収録
- ・ オゾンとの連携による DOCOMOMO セミナーの開催(見学会も含む)一般公開
- ・ 見学会(研究資料作成を念頭に)会員向けに年2回開催
- ・ 研究会(国際専門委員会に対応)
- ・ 国際交流。DOCOMOMO Korea などとの交流を積極的に進める。研究集会参加など。
- ・ 名簿の発行(会員に投げかけて意見交換して発行する)
- ・ そのほか、保存要望書の提出、保存活動のサポート(海外との対応 Mo)、広報活動(HP、会報の発行など)、巡回展の開催などを活発に行う。

上記活動に併せた予算計画報告(桐原)

4、DOCOMOMO Japan 組織表(渡邊)活動を行う10のセクションを作りその主(チエア)、副(セクレタリー)を選出しメンバーは会員の希望を受け入れて構成する。主、副が幹事となり三役(会長、事務局長、幹事長)を含めて幹事会を構成する。それに併せて会則を変更する。

5、2007年度選定建築物の選定(兼松)

今年度は10選の選定とし、既にコアによる会議で選定した9選を報告し、本会参加者によって候補に残ったなかから1選の選出をして10選の決定をした。選定結果については建築学会歴史意匠委員会、理事会に報告した後、学会長、DOCOMOMO 代表連名にて公表するものとする。